

商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況について

本取組みは両工業会共同で2002年11月以降実施してきたものである。活動概要は以下のとおり。

1. リサイクル設計の推進 : (1) 車体メーカー各社にて製品展開拡大中。
(2) 易解体性向上・解体マニュアル充実のため平ボデー、バン型車解体実験を実施。設計への反映、解体マニュアル記載内容見直しを推進。
(3) 環境基準適合ラベルの貼付目標 80%達成済み。(2017年度 91.6%)
2. 重金属4物質の使用削減 : 鉛、六価クロム、水銀、カドミウムの4物質すべて目標達成を継続。
3. リサイクル・適正処理の推進 : 協力事業者制度の維持、継続中。
4. 情報提供、啓発活動の推進 : 関連事業者との情報交換継続。協力事業者制度参加事業者リストの配布継続、解体作業見学会実施、シャシー・架装物工場見学会実施。

自主取組みの内容	進捗状況																												
1. リサイクル設計の推進																													
(1) 易解体性向上および適正処理の推進 [目標: 易解体性バンの試作、製品展開]	①各社にて各種易解体性バンの開発、製品化を展開中。 ②易解体性バンは 2017年度車工会会員バン生産の91.5%(78,296台) ③易解体性向上のため、解体業者団体と連携して平ボデー、バン型車等の解体作業見学会を実施、解体時間短縮のための課題を抽出、製品に反映し架装メーカー各社にフィードバック。																												
	<p style="text-align: center;">車工会会員生産バンに占める易解体性バンの割合</p> <table border="1"> <caption>車工会会員生産バンに占める易解体性バンの割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2005</td><td>70%</td></tr> <tr><td>2006</td><td>71%</td></tr> <tr><td>2007</td><td>87%</td></tr> <tr><td>2008</td><td>87%</td></tr> <tr><td>2009</td><td>89%</td></tr> <tr><td>2010</td><td>91%</td></tr> <tr><td>2011</td><td>90.7%</td></tr> <tr><td>2012</td><td>91.0%</td></tr> <tr><td>2013</td><td>89.8%</td></tr> <tr><td>2014</td><td>90.4%</td></tr> <tr><td>2015</td><td>90.7%</td></tr> <tr><td>2016</td><td>91.1%</td></tr> <tr><td>2017年度</td><td>91.5%</td></tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	2005	70%	2006	71%	2007	87%	2008	87%	2009	89%	2010	91%	2011	90.7%	2012	91.0%	2013	89.8%	2014	90.4%	2015	90.7%	2016	91.1%	2017年度	91.5%
年度	割合 (%)																												
2005	70%																												
2006	71%																												
2007	87%																												
2008	87%																												
2009	89%																												
2010	91%																												
2011	90.7%																												
2012	91.0%																												
2013	89.8%																												
2014	90.4%																												
2015	90.7%																												
2016	91.1%																												
2017年度	91.5%																												
(2) 解体マニュアル作成 [目標: 主要3機種の大半をカバー]	①解体事業者等から要望のあった、主要3機種(レントゲン車、冷蔵・冷凍バン、タンクローリ)の解体マニュアルについて対応完了。 (特装車製品など新規作成) ②車工会会員主要各社ホームページにて公開中。 累計公開件数: 192件(前年比+15件) ③解体事業者団体と連携、解体作業見学会を通じて得た作業実態をマニュアルへ反映。																												
	<table border="1"> <caption>累計公開件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2008</td><td>128</td></tr> <tr><td>2009</td><td>131</td></tr> <tr><td>2010</td><td>133</td></tr> <tr><td>2011</td><td>137</td></tr> <tr><td>2012</td><td>140</td></tr> <tr><td>2013</td><td>143</td></tr> <tr><td>2014</td><td>161</td></tr> <tr><td>2015</td><td>170</td></tr> <tr><td>2016</td><td>177</td></tr> <tr><td>2017年度</td><td>192</td></tr> </tbody> </table>	年度	件数	2008	128	2009	131	2010	133	2011	137	2012	140	2013	143	2014	161	2015	170	2016	177	2017年度	192						
年度	件数																												
2008	128																												
2009	131																												
2010	133																												
2011	137																												
2012	140																												
2013	143																												
2014	161																												
2015	170																												
2016	177																												
2017年度	192																												
「ウイングボデー 解体マニュアルの例」	解体作業手順 記載例																												
	①サイドガード、リヤファンダー、リヤバンパー等の下回り部品を、固定しているボルト、ナットを外し、横根太やシャシーフレームから取外します。 ②内装材、ラッシングレール、クッション材、腰鉄板等はタッピングスクリューまたはリベットで取付けられているので全て外します。リベットは芯径よりやや大きいドリルで芯部に穴をあけ分解します。 ③ボデー内外部の電装品(マーカランプ室内灯、スイッチ類)はタッピングスクリュー又はリベットで取付けられているので全て外します。																												

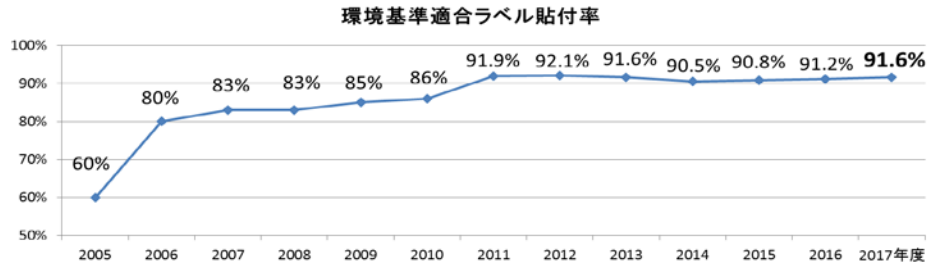
(3)環境基準適合ラベルの設定

〔目標：車工会会員生産車の80%に貼付〕

〈環境基準適合ラベルの要件〉

- ①3R判断基準ガイドラインの作成
- ②解体マニュアルの作成・公開
- ③製造業者名の表示
- ④樹脂部品材料名の表示

・2004年3月、環境基準適合ラベルの要件を設定し、2005年度以降、**毎年目標80%を達成中。**



※2016年1月より、環境基準適合ラベルは、環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録、掲載中。

2. 重金属4物質の使用削減

- (1)鉛
〔目標：使用量 2002年度60g/台 →2006年度30g/台に半減〕
- (2)水銀
〔目標：2005年1月以降使用禁止(照明装置等を除く)〕
- (3)六価クロム
〔目標：2008年1月以降使用禁止〕
- (4)カドミウム
〔目標：2007年1月以降使用禁止〕

- 2005年度より目標達成を継続。
〈鉛フリー化の事例〉ダンプ、タンクローリ等の電着塗料への切替>
- 2004年末より目標達成を継続。
〈水銀フリー化の事例〉高所作業車の水平保持用のスイッチ>
- 2007年末より目標達成を継続。
〈六価クロムフリー化の事例〉金具類(例：蝶番、ボルト、ナット、油圧ホースガードワイヤ>
- 2006年末より目標達成を継続。
〈カドミウムフリー化の事例〉マーカーランプ、タンクローリ自動開閉装置の温度ヒューズ>

⇒**毎年重金属4物質の目標達成が継続されているかフォローアップ活動を実施中。**

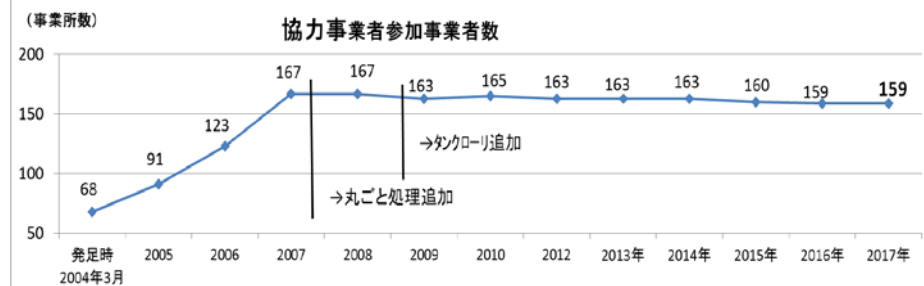
3. リサイクル・適正処理の推進

- (1)協力事業者制度の構築と拡充
〔目標：制度への登録拡充と各ブロックへの適正配置〕

車工会ホームページに掲載



- ①協力事業者について、全国各ブロックへの適正配置を継続。
- ②解体事業者の要望をふまえて丸ごと処理事業者ならびにタンクローリ残液の分析・処理・洗浄事業者も維持。
- ③協力事業者の状況を定期的に把握し、必要に応じ車工会ホームページを更新、情報提供を継続中。



4. 情報提供、啓発活動の推進

- (1)協力事業者参加事業者リスト改訂版作成・配布。
(解体事業者等に配付。(4月：10,000部))
- (2)解体事業者への情報提供。
商用車架装物処理に関して解体事業者団体等と作業現場の見学会・意見交換を継続。また、解体事業者団体に対してシャシー・架装物工場見学会を実施(11月)。
※2018年度についても実施予定